

経営発達支援計画の概要

実施者名	阿哲商工会
実施期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
目標	<p>阿哲商工会は、新見市と共に小規模事業者の維持及び持続的な発展と、地域経済の活性化のため、他の支援機関と連携し支援を行う。</p> <p>さらに、中・長期的な取り組みとして新見地域内の課題や小規模事業者への振興及び地域の在り方を踏まえた上で、以下の3点に焦点を当て取組んでいく。</p> <p>(1)小規模事業者の売上拡大・利益向上に資する支援を行う。</p> <p>(2)円滑な事業承継・創業支援による地域内事業者数の維持を行う。</p> <p>(3)6次産業化推進及び「A級グルメ」を活用した観光推進体制の強化を図る。</p>
事業内容	<p>I. 経営発達支援事業の内容</p> <p>1. 地域の経済動向調査に関すること 地域の経済動向に関する分析結果を取り纏めた資料を作成し、管内小規模事業者に提供するとともに、事業計画策定時に活用する。</p> <p>2. 経営状況の分析に関すること 積極的な経営分析実施機会の創出を行い、経営資源や特徴を掴み、実施可能性の高い事業計画の策定時に活用する。</p> <p>3. 事業計画策定支援に関すること 事業計画策定の必要性の周知と、経営の持続的発展を実現し新たな需要の獲得に必要な事業の再構築を図るための事業計画策定支援を行う。</p> <p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること 経営計画の進捗状況を確認し、計画の実行支援や新たな課題・問題等について、他の支援機関との連携も含め的確により深く伴走支援を行い、事業計画の軌道修正を行っていく。</p> <p>5. 需要動向調査に関すること 事業者の取り扱う商品・役務の需要動向について取り纏めた資料を作成し提供を行い実効性のある事業計画作成に活用する。また、地域資源を活用した商品や役務に関する需要動向情報を収集・分析し、新規顧客獲得、販路拡大支援を行う。</p> <p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 新たな地域資源の発掘や既存商品のブラッシュアップを図るため、セミナー及び相談会を開催する。また、各機関が実施する海外展開を含む展示・商談会への出展支援及び小規模事業者持続化補助金を中心とした多様な業種の販路開拓支援を実施する。</p> <p>II. 地域経済の活性化に資する取組</p> <p>1. 地域経済の活性化に資する取組に関すること 新見市及び地域の関係団体と連携し、さらなる活性化を図る。</p>
連絡先	<p>阿哲商工会 〒719-3611 岡山県新見市神郷下神代4898番地9 TEL：0867-92-6103 FAX：0867-92-6105 E-Mail atetsu@okasci.or.jp</p> <p>新見市産業部 商工観光課 〒718-8501 岡山県新見市新見310番地3 TEL：0867-72-6137 FAX：0867-72-6181 E-Mail s-kanko@city.niimi.okayama.jp</p>

【事業の成果・評価・見直しの結果等（令和5年度実績）】

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査

達成度			達成・未達成の要因
			<ul style="list-style-type: none"> ・RESASは支援状況により活用。 ・景況調査（県連）データは、内部共有されている。 ・景況調査（阿哲）は中止し新たに全国連が実施する小規模企業景気動向調査を実施。
項目	目標	実績	
公開回数（RESAS）	1回	1回	
公開回数 （景況調査 全国連）	1回	1回	
公開回数 （景況調査 阿哲）	1回	0回 （中止）	主な今後の予定・改善点
年度終了後 HP へ掲載			<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の現状に即した定点観測データの収集分析が必要であり、引き続き課題ごとに有用なデータをわかり易く提供する。
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<p>全国連調査を活用した景況調査や RESAS を活用した地域経済動向の調査も行われている。今後は一層わかりやすい、個社の実情に応じた提供を心掛けたい。</p>			

2. 経営状況の分析

達成度			達成・未達成の要因
			<ul style="list-style-type: none"> ・経営状況登録は決算指導、支援時の情報収集で行えている。 ・経営分析については、コロナ禍が収束し、平時の対応に戻ったと考えられ対応申請数等が減少した。
項目	目標	実績	
経営状況登録事業者	210社	211社	
経営分析件数	60件	80件	主な今後の予定・改善点
			<ul style="list-style-type: none"> ・早期定期的な提供を行えるよう、日計表の預かり早期化を続けていく。併せて役職員間での情報収集を行っていく。
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<p>経営分析の理解と活用が進んでいる状況である。今後も事業者の経営分析の必要性や分析手法の理解を促進し、経営判断への活用を促進したい。</p>			

3. 事業計画の策定支援

達成度			達成・未達成の要因
			<ul style="list-style-type: none"> 概ね達成できているが、経営レポート作成数が未達となった。 支援ツールにとらわれず、各自が使いやすいツールを使いながら、事業者の経営計画策定を支援する。
項目	目標	実績	
セミナー開催回数	2回	3回	
事業計画策定件数	40件	51件	
経営レポート作成件数	6件	0件	
創業塾・セミナー開催回数	2回	2回	
創業支援者数	5社	5社	
第2創業（経営革新）支援者数	3社	3社	
			主な今後の予定・改善点 <ul style="list-style-type: none"> 親族内承継支援、社内承継や第三者承継を含めた支援を行っていく。 多様な形態（スモールスタートの事業者、兼業副業フリーランス、業態転換に対応した第二創業事業者、承継者、移住者）の支援を行っていく。 BCP、DX、販路開拓支援を強化していく。
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<p>コロナ禍における支援から、BCPやDX、販路開拓等を踏まえた経営力強化に資する事業計画策定支援へのニーズが高まる。今後も伴走型支援を継続・強化していきたい。</p>			

4. 事業計画策定後の実施支援

達成度			達成・未達成の要因
			<ul style="list-style-type: none"> 売上増加、利益率3%以上の増加事業者数については決算情報収集後に集約する。
項目	目標	実績	
フォローアップ対象事業者数	40社	82社	
頻度（延数）	120回	139回	
売上増加事業者件数	15社	－社	
利益率3%以上の増加事業者数	10社	－社	
			主な今後の予定・改善点 <ul style="list-style-type: none"> 「資金繰り計画表」の作成支援は低調であり、その必要性を浸透させるとともに、取組を始める気づきを与える必要がある（ゼロゼロ融資対応） 実行時の課題への対応や施策活用など自走化を意識しフォローアップを行う。
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<p>補助金に関するフォローアップから、経営力再構築に向けたフォローアップが中心となる。保証協会連携事業やデジタル化支援事業等と連携した伴走支援が求められる。</p>			

5. 需要動向調査

達成度			達成・未達成の要因
項目	目標	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における展示会同行支援数が2社にとどまり未達成となっている。
需要動向調査対象事業者	20社	24社	
アンケート調査支援者数	3社	0社	
			主な今後の予定・改善点
			<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズを早期に的確にキャッチし、事業者に応じた細かい対応を行っていく。
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<p>コロナ禍からの回復により国内外の需要が上向き傾向にあることを踏まえ、販路開拓に関する取り組みを強化していきたい。</p>			

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

達成度			達成・未達成の要因
項目	目標	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者持続化補助金は、一般型：7社。コロナ禍、価格高騰など課題解決を図る販路開拓支援を行った。 ・商談会・展示会については年度当初不透明であったことから未計画であったがコロナ5類移行に伴い、次年度以降に計画。
小規模事業者持続化補助金の申請	18社	7社	
販路開拓セミナーの開催	2回	1回	
展示会・商談会出席事業者	10社	3社	主な今後の予定・改善点
見積提案数/社	3社	－社	
成約件数/全体	3社	－社	
ブランド認定事業者	－社	－社	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者支援ニーズの多様化に対応するため、セミナー及び個別相談などより効果的な方法で販路開拓を支援していく。 ・次年度は、事業者が効果を求めて出展できるようより積極的に推進していく。
売上増加事業者数	－社	－社	
売上額(前年対比)/社	－社	－社	
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<p>行政や商工会議所等と連携した販路開拓支援の一層の充実が期待される。ECサイト活用やインバウンド対応など多様な販路開拓への方策を検討したい。</p>			

II. 地域経済の活性化に資する取り組み

達成度			達成・未達成の要因
			<ul style="list-style-type: none"> 従来定義していた A 級グルメフェアは未開催。
項目	目標	実績	
A 級グルメフェア出店社数	10 社	— 回	
まちづくり委員会開催数	4 回	0 回	
イベント開催数	4 回	— 回	
情報交換会議の開催	12 回	12 回	
コミュニティサービスに み参加企業数（移行済）	26 社	25 社	主な今後の予定・改善点 <ul style="list-style-type: none"> 行政及び関係団体と情報共有が出来るよう働きかけ、効果的な取組になるように意見具申を行う。
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<p>コロナ禍からの回復に伴う企業活動の積極展開を支援するためにも、地域全体の活性化や連携を促進したい。</p>			